

生物季節観測 ～季節の便り～

季節の移ろいを感じるのとはどんなときでしょうか。根雪が無くなった、日が長くなったなど十人十色の回答があるとは思いますが、梅が咲いたり、蝉の鳴き声が聞こえるようになったりといった、季節の花や虫たちによっても移ろいを感じる人は多いのではないのでしょうか。今日は、そんな季節の便りを運んでくれる花や虫たちに関係する、気象庁のお仕事の一つ「生物季節観測」についてお話をしたいと思います。

気象庁では、季節の遅れ・進みや気候の違いなど総合的な気象状況の推移を把握するために、生物季節観測と呼ばれる観測を行っています。生物季節観測には、植物の開花した日や紅（黄）葉した日を記録する植物季節観測と、昆虫や鳥の初めて鳴いた日あるいは初めて見た日を記録する動物季節観測の2種類があります。これらの観測種目は地域によって異なりますが、観測の基準は全国一律で定められています。

例えば、サクラの開花についてはテレビや新聞で報道されることもあり、気象庁がその観測を行っていることは皆さまご存知のことと思います。一方で、他の植物や動物についても観測を行っていることは知らなかったという方も多いのではないのでしょうか。

そこで、青森地方気象台では今年の春から、皆さまへ季節の便りをお届けするべく、青森の生物季節観測の結果について、青森地方気象台HPの新着情報でのお知らせを始めました（図 1 の赤枠部分）。

The screenshot shows the homepage of the Aomori Local Meteorological Station. The main header includes the station's name and navigation links. The 'New Information' section is highlighted with a red box and contains the following items:

- ◆イチョウの発芽・ヤマツツジの開花・シバの発芽を観測しました。(2020.5.4)
- ◆青森県の天候(4月)を掲載しました。(2020.5.1)
- ◆青森県気象旬報(4月下旬)を掲載しました。(2020.5.1)
- ◆危険度分布の表示を再開し、ピックアップを更新しました(2020.5.1)
- ◆ウグイスの初鳴を観測しました。(2020.4.25)
- ◆モンシロチョウの初見を観測しました。(2020.4.25)

Below the list, there are links for 'Past New Information' for the current year and the previous year. A note indicates that clicking on an image will lead to the JMA website. At the bottom, there are tabs for 'Weather Alerts', 'Weather Forecast', and 'Weather Radar'.

図 1 5月11日時点の青森地方気象台ホームページのトップページ画面

赤枠内の「〇〇の開花を観測しました」といった記載をクリックしていただくか、「青森県の季節現象」のページ (<https://www.jma-net.go.jp/aomori/koho/kisetu.html>) から青森地方気象台で観測している動物・植物の一覧表をご覧ください。この一覧表を見ていただくと、サクラ以外にもイチョウやイロハカエデといったよく知られた樹木やタンポポのような身近な野草の観測まで行っていたことがおわかりになると思います。

ここで、植物季節観測の一例として、4月25日に観測されたタンポポの開花について紹介します。

植物季節観測の開花とは、多数の花が咲く植物であれば「5～6輪が開花すること」、それ以外の植物であれば「2～3輪が開花すること」というように定めています。タンポポの開花は後者に当てはまるため、青森地方気象台の敷地内で1輪だけ咲いているのを見つけたとしても、それは開花の観測とはなりません。もう1～2輪咲いているのを観測して初めてタンポポの開花日となります。

また、観測する植物の種目についてもきちんと定められており、青森地方気象台ではタンポポについて**在来種**のタンポポのみを観測しており、**帰化種**であるセイヨウタンポポは観測の対象となっておりません。そのため、敷地内にたくさんのタンポポが咲いていたとしても、それが**在来種**のタンポポであるかどうか、一輪一輪調べながら観測する必要があります。



図2 タンポポ(左)とセイヨウタンポポ(右)

セイヨウタンポポとタンポポの簡単な見分け方として、総苞(そうほう：花の根本を包んでいる部分)に注目するという方法があります。なぜなら、**帰化種**のセイヨウタンポポは総苞の部分が反り返っているのに対し、**在来種**のタンポポは総苞の部分が密着していて、その違いで見分けることができます(図2)。余談になりますが、今年のタンポポの観測は筆者が行っており、敷地内に咲いているタンポポを一輪一輪めくって判別をしていました。来年以降の春頃に職員がタンポポを一輪一輪見て回っているのを見かけましたら、タンポポの植物季節観測をしているのだとご理解いただければ幸いです。

これからも、青森地方気象台HPで青森の生物季節観測のお知らせを発信していきますので、季節の移ろいを感じる一助となりましたら嬉しく存じます。

(この原稿の作成 現業班 寺内)



国土交通省

国土交通省 気象庁 青森地方気象台
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号
電話017-741-7411

気象庁ホームページ: <https://www.jma.go.jp>

青森地方気象台ホームページ: <https://www.jma-net.go.jp/aomori/>



気象庁